

特定非営利活動法人ピースオブマインド 活動予算書
令和7年度 令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1.受取会費			
正会員受取入会金	0		
賛助会員受取入会金	3,000		
正会員受取会費	0		
賛助会員受取会費	20,000		
		23,000	
2.受取寄附金	0		
受取寄付金	40,000		
		40,000	
3.受取助成金等			
受取民間助成金	2,200,000		
受取補助金	600,000		
		2,800,000	
4.事業収益			
フリースクール事業収益	4,698,000		
		4,698,000	
5.その他収益			
受取利息	0		
雑収益	0		
		0	
経常収益計			7,561,000
II 経常費用			
1.事業費			
(1)人件費			
給料手当	3,912,000		
福利厚生費	357,174		
法定福利費	360,000		
人件費計	4,629,174		
(2)その他経費			
会議費	0		
旅費交通費	30,000		
減価償却費	0		
家賃	1,800,000		
リース料	106,000		
備品費	100,000		
広告制作費	30,000		
支払利息	0		
その他経費計	2,066,000		
事業費計		6,695,174	
2.管理費			
(1)人件費			
役員報酬	10,000		
給料手当	0		
福利厚生費	0		
法定福利費	0		
人件費計	10,000		
会議費	0		
旅費交通費	0		
支払利息	0		
その他経費計	0		
管理費計		10,000	
経常費用計			6,705,174

当期経常増減額		855,826
Ⅲ 経常外収益		
1.固定資産売却益	0	
経常外収益計		0
Ⅳ 経常外費用		
1.過年度損益修正損	0	
経常外費用計		0
当期正味財産増減額		855,826
前期繰越正味財産額		-846,423
次期繰越正味財産額		9,403

- * 1 設立(合併)の初年度と翌年度について、それぞれ別葉で作成する。
 2 初年度分は、申請予定日からおおむね4か月後以降について作成する。
 3 その他の事業を行う場合には、「その他の事業会計 活動予算書」として別に作成する。
 4 その他の事業を行う場合は、その他の事業会計から特定非営利活動に係る事業の会計への繰出、繰入が明らかになる科目を設定して記載する。
 5 不要な科目は、削除する。
 6 次期繰越正味財産額は、次期事業年度活動予算書の前期繰越正味財産額と金額が一致することを確認する。